

<ご案内>

いつも大変お世話になっております。

今回弊社で採用された案件が西日本新聞(平成26年8月15日:朝刊)とNHKで紹介されました記事についてご紹介させていただきたくお伺いしました。

記事の概要は、2年前福岡市のとあるため池で男児が転落死した事件がありました。この事故を踏まえ、転落しても這い上がれるよう改良された張りブロック(弊社提案物件)が今回報道されました。

※事故再発を未然に防ぐ目的で、自治体に強く提案しております。

どこかでハナシのネタになれば・・・と思っております。

また新しい情報がありましたら報告させていただきます。

ご意見、ご感想がありましたら遠慮なく申しつけ下さい!

今後とも日設コンサルタントをどうぞ宜しくお願いいたします。

それでは失礼いたします。

平成27年吉日

<ご案内記事>

1) ・防災型張りブロックの新聞記事について。(弊社案件)

2) ・畑の郷水土利館 水土研修会(鹿児島県)

・大分土改連主催 農業土木研修会新聞記事について。

(講師 弊社代表取締役)

ご意見・ご要望など
(FAX 092-262-2388)



〒812-0024
福岡市博多区綱場町9-28
博多蔵本ビル3階
TEL092-262-2377 FAX092-262-2388
営業部 広報室
宗俊(むなとし)
e-mail:munatoshi@niscon.co.jp

.....

.....

.....

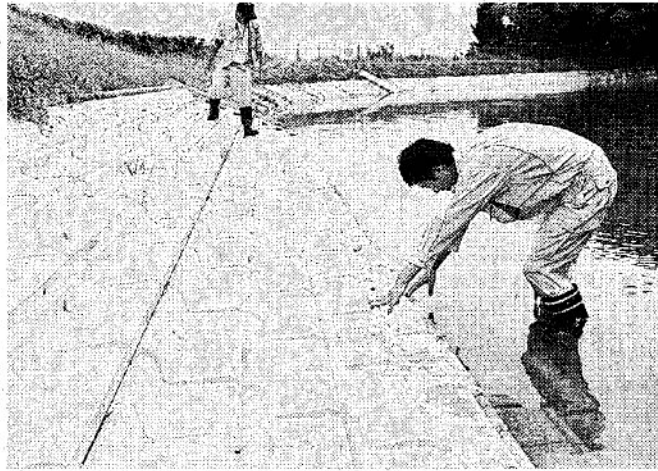
.....

.....

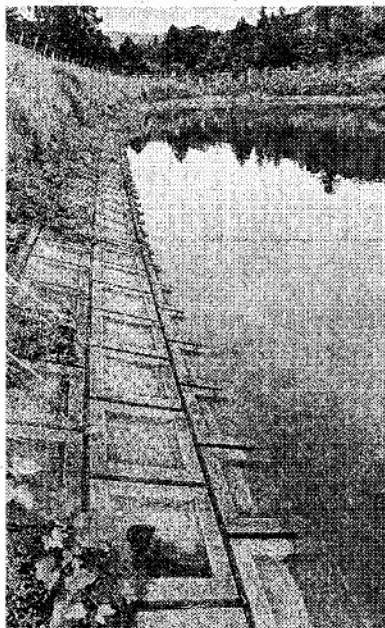
.....

農業用ため池 転落死防げ

はい上がれる 階段ブロック



西区の西山下池ののり面で試験的に導入された防災型ブロック。階段状になっており、指をかける溝もある



従来ののり面ブロック
(西区の飯盛新池)

福岡市は、市が管理する農業用ため池ののり面の浸食を防ぐブロックを改良した「防災型」を試験的に導入した。同市では2年前、男児2人がため池に転落して死亡する事故が発生。再発防止を目指し、転落して

も水中からはい上がりやすいよう、ブロックの表面に工夫を施した。池への立ち入りは禁止されており、市農業施設課はルールを守るよう呼び掛けている。

防災型ブロックは西区金

福岡市職員考案「まず立ち入らないで」

備費用が1・6倍ほどかかるため、市は数年かけて劣化の状況などを検証し、本格導入を判断する。

2年前の事故では、ため池の施設が壊れ、扉が開いた状態だった。事故後、市は管理するため池317カ所を調査。4割超で金網のフェンスが破られるなどの問題が見つかり、改修工事を進めてきた。

ただ、釣りなどの目的で池に不法侵入するケースは後を絶たない。東区の名子農事水利組合の黒木義人組長(64)は「フェンスを修理しても侵入は繰り返され、いたちごっこ状態。事故が起きてからでは遅いので、侵入を見かけたら警察に届けてほしい」と話している。

防災型張りブロック(滑り止め張りブロック)

2013.10月現在

舗
整

環境製品
防災型張りブロック

水
路

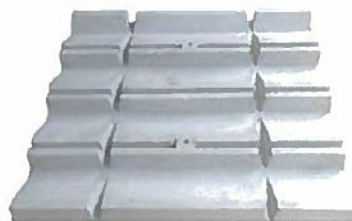
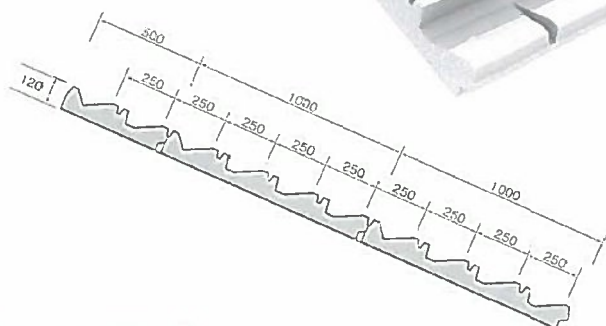
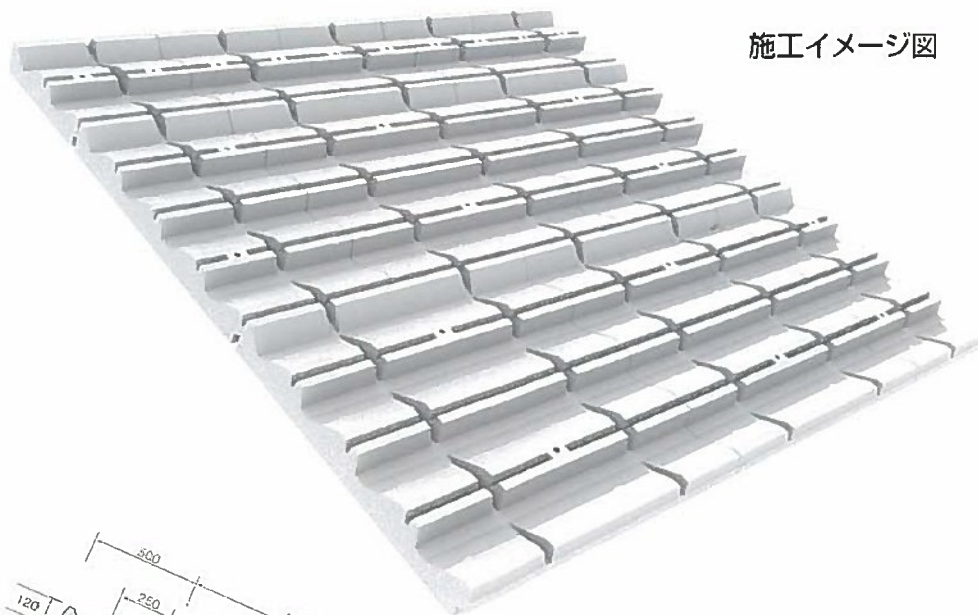
側
溝

道路
用
他

ト
ッ
プ
ベ
ー
ス
工
法

住
宅
関
連

施工イメージ図



〈特徴〉

- 使用用途として、ため池、河川、クリーク、遊水地などの護岸工事に使用できます。
- ブロック表面部縦目地が細かく配置され、表面排水に優れているため、ほこり、土砂などの溜りの抑制効果があります。
- 表面形状前面に渡り階段状となり、足掛として作業性、安全性が向上します。
- 表面形状の凹凸を細かく設置しているので、転倒、滑落時の手掛かりとしての機能を有しています。
- 大型張ブロックであるため、工事費の削減、機械施工による省力化及び工期短縮を図れます。

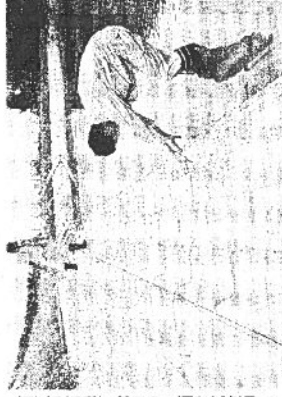
据付歩掛

(10㎡当り)

| 名称 | 規格 | 単位 | 数量 |
|----------|---------------|----|-----|
| 張りブロック | 1000×1000×120 | ㎡ | 10 |
| 世話役 | | 人 | 0.1 |
| ブロック工 | | 人 | 0.2 |
| 特殊作業員 | | 人 | 0.1 |
| 普通作業員 | | 人 | 0.2 |
| ラフタークレーン | 25t吊 | 日 | 0.1 |
| 諸雑費 | | % | - |

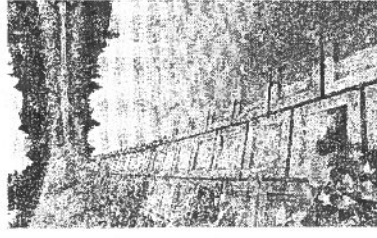
農業用ため池 転落死防げ

はい上がる 階段ブロック



西区の西山池のり面を試験的に
導入された防墜型ブロック。階段状
になっており、指をかける溝もある

福岡市は、市が管理する農業用ため池のり面の覆食を防ぐブロックを改良し「防墜型」を試験的に導入した。同型は2年前、男児さんが池に転落して死する事故が発生。再発防止を旨とし、転落して



従来のり面ブロック
(西区の麻盛新池)

も水中からは上がりやすい。ブロックの表面に土を施した。池への立ち入りは禁止されており、農業施設にはルールを守るよう呼び掛けている。

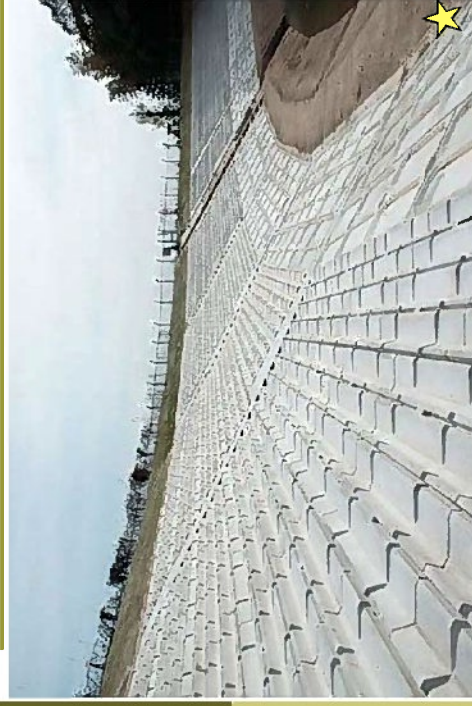
防墜型ブロックは西区釜武の西山池など3カ所に整備。従来のり面と比べて指をかける溝が深く、足が滑りにくくなっている。市職員は「従来のり面と比べて

福岡市職員考案 「まず立ち入らないで」

構費用が1・6割ほどかかるため、市は数年かけて劣化の状況などを検証し、本橋導入を判断する。2年前の事故は、ため池の護欄が壊れ、尿が閉じた状態だった。事故後、市は管理するため池31カ所を調査。4割超で金網のフェンスが破られるなどの問題が見つかり、改修を進めてきた。ただ、初めは「池に近づかないで」という啓蒙活動は、市民の反応が鈍い。市職員は「まずは立ち入らないで」という啓蒙活動は、市民の反応が鈍い。市職員は「まずは立ち入らないで」という啓蒙活動は、市民の反応が鈍い。



14. 設計における留意点 (法面保護工 3/3)



防災型張ブロック

- 使用用途として、**ため池**、河川、クレーク、遊水地などの護岸工事に使用できます。
- ブロック表面部縦目地が細かく配置され、表面排水に優れているため、ほこり、土砂などの溜りの抑制効果があります。
- 表面形状前面に渡り階段状となり、足掛として作業性、安全性が向上します。
- 表面形状の凹凸を細かく設置しているので、**転倒、滑落時の手掛かりとしての機能を有**しています。
- 大型張ブロックであるため、工事費の削減、機械施工による省力化及び工期短縮を図れます。

防災型張りブロック(滑り止め張りブロック)

2013.10.08更新

施工イメージ図



☆ 西日本新聞 H26.8.16





今日も
安全に
建設業労働災害防止協会 大分県支部
〒870-0045 大分市城崎町3丁目3-41
TEL/097-538-0745 FAX/097-538-0323
http://www2.ocn.ne.jp/~kensai/

建設大分

日刊

日刊(日・月・祝日の翌日は休刊) 購読料:月間7,560円(税込) 発

改正建基法も成立

構造計算適合性判定制度(通判)の見直しなどを盛り込んだ改正建築基準法が、29日の衆院本会議で可決、成立した。申請者と審査者の負担を軽減するため、通判制度を見直し、建築主が建築主事を経由せず、指定構造計算適合性判定機関に判定を直接申請できるよつにするほか、建築物の事故・災害発生時に国が報告徴集や立入検査などを行えるよう、定期調査・検査報告制度を強化する。現行の通判は、建築主が

建築主事に申請した後、建築主事が都道府県や通判機関などに判定を求めるところになっている。改正法では、建築主が建築主事ではなく、通判機関や都道府県に判定を直接申請できるよつにする。許容応力度等計算

仮使用承認制度は、指定確認検査機関が審査することもある。老人ホームの地下部分やエレベーターホールを容積率不算入とする緩和措置も講じる。このほか、木材利用を促進するため、延焼防止措置などを講じた3階建ての学校などで、耐火構造以外の木造建築物を認める。

ため池老朽化対策学ぶ

県土地連 技術研修会に180人



ため池改修工事の実例を勉強

県土地改良事業団体連合会(義経賢二会長)は28日、大分市の土地改良会館で農業土木技術研修会を開いた。建設業者や、市町村、土地改良区の職員など約180人が受講した。テーマは「ため池改修技術について」で、地震への備えや農業用水確保のため

の、効果的な改修方法などを学んだ。研修会は、農業農村工学会CPD対象研修会で、受講者には3単位が付与された。義経会長が「県内には約2000カ所のため池があり、その大半は老朽化が進んでいる。現在、県では、全体的にため池の一点検を

実施しており、その結果で、改修が必要なため池が抽出される。この講習会で、ため池改修工事に必要な留意点や適正な工法などを学んでほしい」とあいさつ。(株)ジオテック技術士事務所



工事関係者らが出席した起工式
同支店は、JR日豊線豊岡駅前あり、老朽化が

概要を説明し、粒度試験、締め固め試験などの土質性状確認を事例を挙げて詳しく説明した。伊藤純一(株)日設コンサル

なごを防ぐ工法)やグラウト工法(漏水を防ぐため空洞、岩盤の割れ目などにセメントなどを注入して隙間を埋める工法)などを挙げ、その設計における留意点を事例ごとに解説した。(柏木)

著しいため隣接地に侵襲する。建設後、肥田だけを残して、既存車庫解体し駐車を整備する。新支店は、RC造で240平方メートル。設計

上野建設で着工

豊岡駅前支店の新



かなな剛りに取り組む

政治・経済

【報道部】
政治班 097-538-9622
経済班 097-538-9623
FAX共通 097-538-9673

事業所が手掛ける岸壁コンテナクレーン。世界の物流量が伸びる中、アナターミナルの拡張が進んでいる



船コンテナクレーン

センター長 傾けた。
を売れ 小出氏は「業界を問わず、経営相談に来る企業の8割が中小企業の」が売り上げ不振に悩んでい

大分製造 300台を突破

平日午前9時〜午後5時に県よるす支援拠点（8097・537・2837）で受け付けている。

三井造船（本社・東京都）が大分事業所（大分市日吉原）で製造している港湾荷役用の岸壁コンテナクレーン「ポーターナ」の累積製造台数が300台を突破した。岸壁から張り出すアームの長さが67m、高さ52mある大型クレーンを製造、このほどマレーシアに向けて出荷した。

大分事業所はコンテナ船の積み降ろしに使う岸壁用クレーンの製造拠点。同社は1967年から製造を手掛けており、2003年の事業再編に伴い玉野事業所（岡山県玉野市）から大分に移管した。

2014年6/3(火) 合同新聞朝刊(記事)



建設業や行政の関係者約180人が集まる

老朽化ため池 改修技術を学ぶ

県土地改良連研修会
県土地改良事業団体連合会（水士里ネット大分）は5月28日、農業土木技術研修会（大分合同新聞後援）を大分市の県土地改良会館で開いた。老朽化が進むため池の改修に関する技術を学んだ。

建設会社や自治体の農業土木技術者ら約180人が出席。義経賢二会長が「ため池は防災、減災の観点からも重要な役割がある。大規模地震の発生が想定される中で耐久性が問題視されており、しっかりと対応できる技術が必要」と呼び掛けた。

講師では、ジオテック技術士事務所（福岡市）の恒富利彦会長が大規模自然災害に備えて「ため池本体だけでなく、貯水池とその上流の地形地質状況も把握して危険度判定表に加えるべきだ」などと指摘した。

ため池改修に影響する地質についての説明や、改修事例に基づく調査・設計の留意点をテーマにした講演もあった。

梅雨入り 収穫急

梅雨入りを受けて収穫を急ぐ農家。県内では麦の収穫が最盛期を迎えている＝2日、宇佐市



「麦秋」生育は順調

麦が黄金色に実る「麦秋」の時期を迎え、県内の産地では刈り取りが最盛期を迎えている。本年産は3月か

ら温暖な気候で順調に生育した。ただ麦は収穫期に雨に打たれると品質が劣化しやすい。県内は2日、宇佐市の農事組合法人

年より3日早く梅雨入りし、産地では収穫作業を急ぐ農家の姿が見られた。宇佐市の農事組合法人

【取材】
▽加賀政協（会長）▽PTA連合会（高瀬一郎氏）▽子（同理事）▽日野（同理事）▽日野（同理事）▽日野（同理事）▽日野（同理事）

| | |
|-----------------|-----------------|
| 大分手形交換高 (2日) | 5月の大分手形交換高 |
| 交換枚数 6,709枚 | 交換枚数 24,242枚 |
| 交換額 1,037,215万円 | 交換額 5,555,555万円 |

建築関係技術者研修

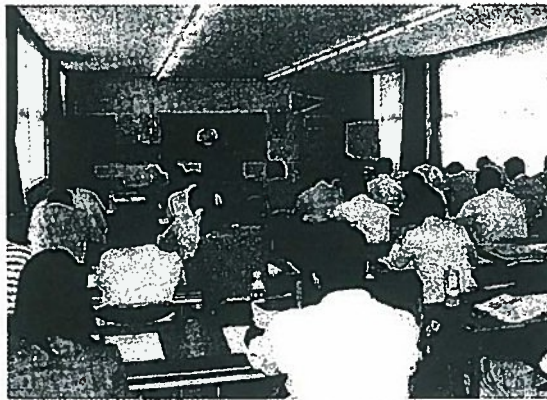
関係法令など理解

県建築協会曾於支部

県建築協会曾於支部(久徳博文支部長)は8月29日、曾於市の曾於建設会館で2014年度建築関係技術者研修会を開いた。写真。建築関係技術者ら約50人が出席し、最近の建築関係法令や施工における留意点な



役員改選で笹山会長の続投など決
会=始良市加治木町の加音ホール



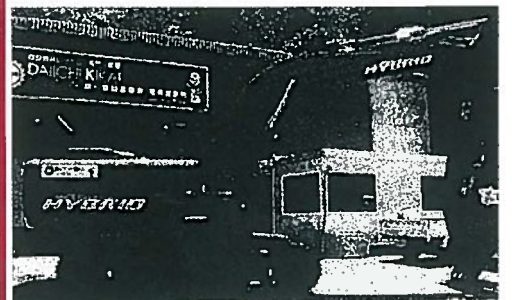
どについて理解を深めた。研修会は、県土木部と県建築協会の共催で実施した。同日は、県大隅地域振興局建設部土木建築課建築係の高橋智幸技術主幹兼係長が最近の建築住宅行政を解説。建築基準法

の改正では、木材利用促進や構造適判などの適応基準、対策や規定のほか容積率の緩和等の工事監理ポイントなどを紹介した。また、最近の建築関係法令等の改正(建築確認件数の動向、住宅関係諸制度について解説したほか施工における留意点などについて説明した。

さつま町を経出して伊佐市に至る延長70kmの国・県道の整備促進と沿道市町の総合的発展を図るため02年2月に発足。対象路線は、鹿児島浦生線、伊集院浦生溝辺線、浦浦生線、下手山田帖佐線、国道267号、薩摩邪宮院線の各一部となっている。議案審議では、13年度

第一機械産業㈱(問谷悟社長) 奄美営業所で躯体を整えたことなども説明した。

ハイブリッドシ
奄美大島で

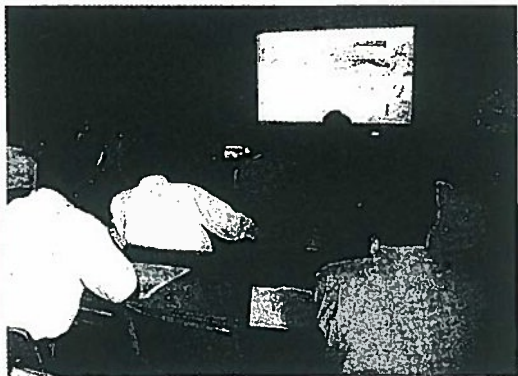


離島において特に需要が見込める」として今後は奄美大島はじめ各離島で営業展開していく。リース料は月極め約40万円前後を予定。問い合わせは、同社奄美営業所(☎09997・69・3322)まで。

畑の郷水土利館、水土研修会

老朽ため池の現状学ぶ

2014年度第5回畑の郷水土利館水土研修会が8月28日、南九州市の郷水土利館水土研修会同館であった。写真。



今回のテーマは「事例にみる老朽ため池の設計・施工時の留意点」。関係者約30人が参加して、ため池の現状や改修工法などについて理解を深めた。

同日は、県農業水利設計協会(藤安純会長、大成シ

オテック(株)鹿児島支店の伊藤純仁氏(例日設計コンサルタント)が講演。改修事例に基づき、老朽ため池の調査・設計・施工時の留意点について説明した。

夏休みの楽しい思い出に、県建築士会南薩支部(川原克郎支部長)は8月24日、南さつま市の小湊漁港北側の海岸で地引き網大会を開いた。写真。会員らは、獲れた魚でバーベキューを行うなど、楽しい一日を過ごした。

夏休みの
思い出に

土会南薩支部

県高等学校ロボット競技大会が8月22日、始良市の市文化会館加音ホールで行われた。写真。県下14校から16チームが参加。白熱した競技の結果、鹿屋工業高校の鹿屋工業メカトロ部チームが見事優勝に輝いた。



